

・自治会長就任あいさつ

2期目の再選を果たして、新たな2年間、会長を務めることになりました。これまでのご協力に感謝するとともに継続してご協力を仰ぎたいと思っています。過去2年間は、祭広場の有料駐車場化、保育園建設問題、モノレール駅名選定等があり、会員皆さんと一緒に知恵を絞りながら解決してきました。また、高齢化する自治会の将来の展望を明るくすべく、会員の新名簿作成に着手しました。個人情報にあたる内容であるものの、隣近所の絆を大切に、安心・安全な老後を迎えられる事を目的としております。「隣近所」をもっと身近に感じながら、和やかな自治会を目指します。これは、一人ひとりが意識しなければできません。今後とも宜しくお願い致します。



・新班長決定 前期・ヨロシク！

3月30日に引継を行いました。前期は夏祭りを中心に、その他の行事の世話役となりますので、どうぞご協力をお願い致します。

班	班 長	班	班 長
1	徳山 勇	16	濱川 正志
2	仲間 貞英	17	石川 督
3	池宮 行雄	18	玉那覇 康二
4	天久 健次	19	大城 孝
5	下地 玄栄	20	具志堅 強志
6	名嘉真一信	21	知念 結子
7	當間 和廣	22	玉村 弥徳
8	小禄 重信	23	又吉 長詳
9	池宮 勇	24	宮城 直
10	仲宗根 靖	25	與座 範秀
11	山里 早子	26	宮平 弘
12	平良 保文	27	仲嶺 諭
13	平田 聡	28	宮城 俊雄
14	兼本 盛健	29	古堅 実
15	仲村 ヨシ子		

行政区住民登録人口（2月末）

世帯数 669 総人口 1808
自治会加入 406 加入率 61%

定期清掃（第3日曜日） リサイクル活動（同上）

//// 4月行事 ////

5日(日) 評議委員会
6日(火) 春の交通安全県民運動出発式
25日(土) 寿クラブ総会
26日(日) 総会
入学式 4月8日(水)
当山小 浦西中 鏡が丘
*校長が変わりました。
*当山小学校
⇒ 石川 博基
*浦西中学校
⇒ 平良 盛建



*浦西駐車場供用開始 4月1日からスタート！

利用希望者（43名）が利用可能台数（35台）を超えた為3月15日、午後1時から抽選会を行いました。総会以上の人出だと驚きの声で抽選が始まり、一人ひとりの札に注目が集まり一喜一憂しました。当日、抽選漏れした希望者も後日辞退する方がでて、全員が駐車可能となりました。利用者の皆様は、駐車場で事故のないよう注意してご利用ください。



・生きいき健康クラブ交流会 3月21日(土)

65歳以上の高齢者を対象とした体操やレクレーションを通して介護予防に向けたクラブの交流会がありました。今回も浦西からは90歳以上の健康長寿の3名が「がんじゅう賞」を受賞。健康な3名からは学べることが沢山あります。浦西自治会の「生きいき健康クラブ」は毎週水曜日10時から14時まで公民館で実施しています。左から（松田喜代 91歳 高良キミ子 91歳 比嘉幸子 93歳）



・ポップサーカス見学（子ども会）

3月15日(日) 9時出発

奥武山で開催されたサーカスを子ども会で行きました。大型バスをチャーターして50名余の参加で楽しい旅となりました。応募の出足が悪くて、参加者の数が少ないのでは？と心配していたものの、バスから溢れんばかりの参加者に役員は安堵しました。今後も楽しい企画をいっぱい準備しますよ！



・浦西中・山城校長 定年退職

長い、教員生活お疲れ様でした。浦西中学校の開校当時に関わり、文武両道の学校作りに尽力しました。時は移り、校長となって戻り、再度、文武両道を標榜し地域との連携を密にして、全力投球してきました。緑豊かで挨拶のできる生徒の育成等「凡事徹底」の重要性を残し、今度は地域からの支援者に徹することです。自治会の力になります。アリガタヤ！



・ふれあいサロン閉鎖式 映画会「愛染かつら」

前回の「君の名は」に引き続き、希望殺到で第二弾を実施致しました。今回は、諸見敏子代表の挨拶に始まり、365日のマーチ等に合わせ、椅子に腰かけたままでの「健康体操」で体をほぐし、映画を鑑賞。若いころに観た懐かしい名画に改めて感動させられ、青年・少女に戻って、ハンケチを濡らしました。鑑賞後の昼食弁当は、会話も弾みとても美味しかったようです。やはり皆で見るのが一番！来年度も、楽しい企画で喜んでもらいます。



・寿会ピクニック 中部観光 3月2日(月) 28名参加

浦西の高齢者は元気で、旅が大好きです！



具志川の昭和製紙でリサイクルの紙からトイレトーパーが出来上がる工程を見学。レストランで昼食、琉舞の見学で楽しい一日で元氣百倍になって帰ってきました。

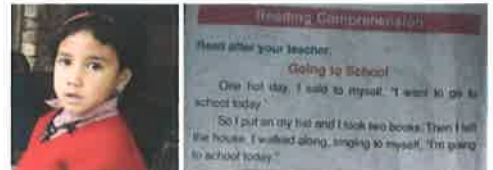
・『ネパール便り 世界の秘境・ヒマール〜』 E-53 坂本氏 ・ナマステー 「英語力について」

最近、道を歩いているとよく声をかけられます。私の容姿がネパール人に似てきたのでしょうか？ 今回はネパール人の英語力について感じたことを紹介します。ネパールにきた当初、小さな店に行くとい子供達が店番をしています。私の顔を見て、お金の受け渡しを英語で行うことに驚きました。まだネパールの数字の呼び方を知っていませんでしたので非常に助かりました（ネパールの数字の呼び方は規則性に乏しく、覚えるのに苦労しています）。この英語力、どのようにして教育してきたのでしょうか。最近、職場の Canteen（畑小屋での食堂）の経営者の孫さんが宿題をしているのを覗く機会がありました（写真1）。小学校1年生で、一生懸命に英語の宿題に取り組んでいました。その教科書を見ると（写真2）、ページの最初は難しいようには思えませんが、ページが進むにつれてかなり難易度が高いように思えてきました。又、教科書だけでなく「書く」前に「しゃべる」の習慣を徹底して行っており、私が学んできた英語教育とは異なっていました。

学校での英語教育ですが、都会のカトマンズ市やパタン市では私立の学校がかなり多く、しかも、学校によっては英語での授業を行っているようです。私が住んでいる住宅のお手伝いさんの娘の女子高校生も英語が堪能です。私との会話も基本はネパール語ですが、話が進むと英語になってしまいます。

英語だけでなく、民族の言葉、テレビ（娯楽番組はインドのヒンディー語）などで4つの異なった言葉（ネパール語、英語、ヒンディー語、民族語）を話します。どうも、異なった言葉を話すのに抵抗がないようです。

数年前に日本大使館で勤務していた方と、この英語力について話を聞く機会がありました。彼女曰く、数年前までは英語力はなかったが、最近になって伸びてきたとのこと。海外に出稼ぎに行く人が増え、英語は必須になったようです。この英語力、問題点もあるようですが、民族語との兼ね合いもありいつか取り上げたいと思います。



*リサイクル収益金

3月末実績

223,348円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。*アルミ缶はつぶして出して頂けると助かります。



・当山小学校の新一年生へ「お守り」の贈呈

毎年、新入学生全員に地域8自治会の老人会が貝で作ったお守りを贈呈していますが、浦西は松田喜代さん（91歳）が一人で割り当ての35個を作ってくれました。学校側から大変感謝されました。ご苦労様でした。

